



アンサンブル・ノマド結成25周年記念

第76回定期演奏会“委嘱・献上作品集” vol.2: 窓

25th
Anniversary
Tokyo Opera City
Concert Hall / Recital Hall

プログラム

J.M. ロペス・ロペス：隆子の樹（2022）* ~世界初演

José Manuel López López: El árbol de Takako

G.C. タッカーニ：11月の窓（2022）* ~世界初演

Giorgio Colombo Taccani: Le finestre di novembre

R. シーガル：フォワードスペクティブ（2022）* ~世界初演

Rodrigo Sigal: Forwardspective

今井慎太郎：佐藤紀雄の即興による即興曲
—アンサンブルとエレクトロニクスのための（2022）* ~世界初演

Shintaro Imai: Impromptu on Improvisation by Norio Sato for ensemble and electronics

H. バスケス：インテレニヨ（2020）*

Hebert Vázquez: Interregno

北爪道夫：10のリズムドリームズ（2022）* ~世界初演

Michio Kitazume: 10 Rhythm-Dreams

* 荒木田隆子基金委嘱作品

出演者

アンサンブル・ノマド

木ノ脇道元 (fl) 菊地秀夫 (cl) 野口千代光・花田和加子 (vn)
甲斐史子 (va) 菊地知也 (vc) 佐藤洋嗣 (cb) 中川賢一 (pf)
宮本典子 (perc) 佐藤紀雄 (cond/gt)

コンピューター：ロドリゴ・シーガル 今井慎太郎
音響：片桐健順 国立音楽大学コンピューター音楽専修



Guest

パブロ・ガリバイ (gt)

© Jesús Cornejo

10/15 2022 (土)

東京オペラシティ リサイタルホール 18:30 開場/19:00 開演

※曲目・曲順・出演者は変更になる場合がございます。
※発熱や咳など、体調不良の症状がある方や、マスクを着用
されていない方はご入場いただけません。
最新情報は下記団体ホームページをご覧ください。

チケット

	【前売】	【当日】	#76 & #77 【セット券】
一般	¥4,000	¥4,500	¥7,000
大学生	¥2,000	¥2,500	¥3,000
高校生以下	¥1,000	¥1,500	¥1,500

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

*#77 につきましては裏面をご参照ください。

*セット券のお取り扱いはこちらのアンサンブル・ノマドのウェブサイトのみ
となっております。

チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター Tel: 03-5353-9999

アンサンブル・ノマド ウェブサイト

<http://www.ensemble-nomad.com/>

お問い合わせ

キーノート Tel: 0422-44-1165

keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp



主催：一般社団法人 アンサンブル・ノマド <http://www.ensemble-nomad.com/>

共催：公益財団法人 東京オペラシティ文化財団

助成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション NOMURA 野村財団 公益財団法人 花王 芸術・科学財団 公益財団法人 朝日新聞文化財団



アンサンブル・ノマド 結成25周年記念 “委嘱・献上作品集”



結成以来の25年を振り返ってみると、自ら名付け掲げたノマドという言葉の漂流という意味を、様々な国を巡ることや、音楽が辿ってきた広大な時代をも超えて探訪することを好奇心いっぱいのメンバーと共に一つ一つ実践してきたと思います。楽曲探訪の中心となる同時代の作曲家においてはインターネットや出版リストに頼るのではなく、長年に亘って培ってきた作曲家本人との芸術的な交流をもっとも大切にしてきた事が最大の長特であると自負しています。

今回演奏するイタリア、メキシコ、スペイン、日本の6人の作曲家もノマドで何度も取り上げてきた作曲家であり、今回の記念に際しては特別な思いで委嘱し快諾頂いたが、それは作品のタイトルに、多少面映ゆくもあるが、歴然と現れています。

25年の想いの詰まったプログラムという“窓”からの風景をどうぞお楽しみください。

佐藤 紀雄

第77回定期演奏会“委嘱・献上作品集” vol.3: ノマドの時代

東京オペラシティ リサイタルホール 2023年2月5日(日) 13:30 開場 / 14:00 開演

プログラム

西村 朗：ロプノール(彷徨える湖) - 10 奏者のための (2023) ** ~世界初演
Akira Nishimura: Lop Nur for 10 players

近藤 譲：合歓 (2020) *
Jo Kondo: Albizzia

B. カサブランカス：俳句の手帳 ~ 9 つの俳句 (2021) ~ 改訂版世界初演
Benet Casablanca: Book of Haiku - 9 Haikus

L. ロンバルディ：通りがけ (2022) * ~ 世界初演
Luca Lombardi: Toorigake

A. ビニャオ：ノマドの時代 (2021) * ~ 世界初演
Alejandro Viñao: Tiempo Nómada

* 荒木田隆子基金委嘱作品 ** 献上作品

東京オペラシティリサイタルホール



東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ B1F
Tel: 03-5353-0788
京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分

Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年度に行った第15回定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2014年度に行った第52回定期演奏会「再生へ vol.3: 祈り〜エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興記念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティバル」などに出演。

2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコの「セルバンティーノ音楽祭」に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月に再び中国四川公演を行い、2020年には「ライブツィヒ現代音楽祭」にonlineで参加。今後も中国、オランダやフランス、メキシコなどの公演を予定している。また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。CDは、これまで近藤譲「梶子」、

「空の眺め」、「オリエント・オリエンテーション」、「表面・奥行き・色彩」、石田秀実「神聖な社の湿り気を運ぶもの」、池辺晋一郎「炎の資格」、福士則夫「花降る森」が発売されている他、藤倉大の「Turtle Totem」、「Diamond Dust」、「Glorious Clouds」にもライブ録音が収録されている。海外では2011年秋にエルト・バスケスの「Bestiario (動物寓話集)」、2015年秋に「Pruebas de vida (生命の証)」がリリースされている。

2014年にはオリジナル・アルバム「めぐる - Meguru」を発売。2015年夏から秋にかけて発売された「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。

公式ウェブサイト：
www.ensemble-nomad.com/



Photos: Ensemble NOMAD (表裏) ©Maki Takagi

Photos (表): ©Rafa Martin (J.M.Lopez Lopez)、©SIlVIA Accorà (G.C.Taccani) ©Jesús Córrego (R.Sigal)、©Masa Hayashi (今井慎太郎)、©有村蓮 (北爪道夫)